

かがんが



議会だより No.146

平成 31 年度決算	P 2
9 月定例会・議案質疑	P 4
議会の動き	P 5
委員会質疑	P 6
議決結果	P 7
一般質問	P 8 ~
苅田町歴史探検隊・あとながき	P 20

効果的な財政運営を！

平成31年度 苅田町一般会計決算について

歳入については、昨年度に比べ3.4%増の144億4千494万1千747円、歳出については、昨年度に比べ3.6%増の136億6千364万5千672円となっており、当該年度の差引額は7億8千129万6千75円となりました。また、翌年度に繰り越すべき財源は1億1千898万2千714円となっており、実質収支については6億6千231万3千361円の黒字となりました。

本年度の実質収支から昨年度の実質収支を差し引いた単年度収支は7千409万5千869円の赤字となりましたが、財政調整基金に5億1千847万8千3円積み立てを行なったことから実質単年度収支については4億4千438万2千134円の黒字となりました。

歳入①	144 億 4,494 万円
歳出②	136 億 6,365 万円
差引 (①-②)	7 億 8,129 万円

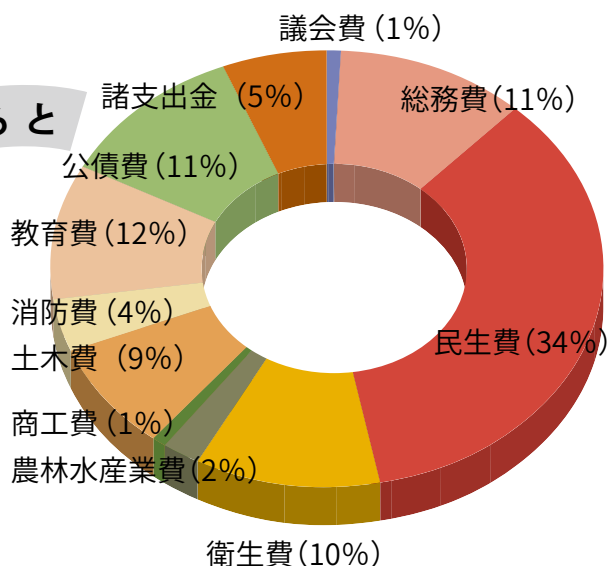
健全財政を維持しています

- ・ 財政力指数 1.249
- ・ 経常収支比率 84.1%

財政力指数とは…財政運営の自主性の大きさを表す指数
経常収支比率とは…財政の弾力性を表す指標

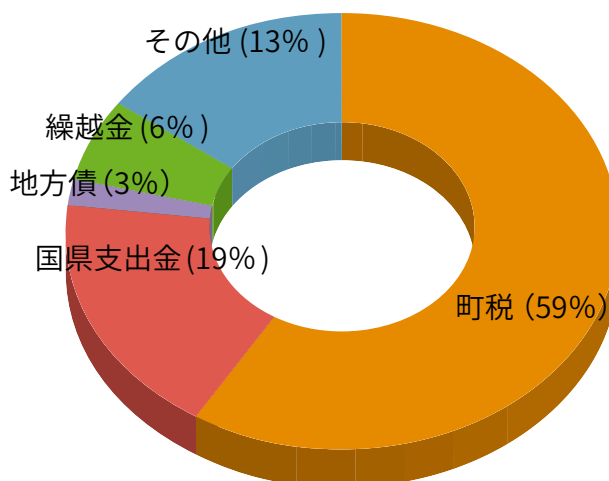
歳出

歳出合計 136 億 6,365 万円



歳入

歳入合計 144 億 4,494 万円



りにすると

平成31年度決算 一般会計 特別会計認定

計画・効果

主な使われ方

民生費

46億3,652万円

子ども・お年寄り・障がい者などに対する福祉事業や医療費などに使われています。



土木費

13億1,321万円

道路・河川、公園、公営住宅の整備や維持補修などに使われています。



教育費

15億8,162万円

小・中学校、公民館、図書館、体育館などの整備・運営やスポーツ・文化行事などの生涯学習に使われています。



総務費

15億1,151万円

職員の人件費、庁舎などの維持管理、税金の徴収、戸籍や住民票の発行、選挙の実施、空港や高速道路対策などに使われています。



商工費

9,759万円

商店街の活性化や企業誘致など、商業や工業の振興などに使われています。



衛生費

13億4,560万円

健康診断など町民の健康対策や、ごみやし尿の処理などに使われています。



消防費

5億966万円

火災の消火活動、病気・けが人の救急搬送業務などに使われています。



農林水産業費

2億8,226万円

農道・林道・ため池などの整備改修や農林水産業の振興などに使われています。



議会費

1億5,170万円

町議会議員の報酬や議会運営などに使われています。



公債費

14億7,368万円

町が借りているお金の返済に使われています。



町の累積残額（町債・基金）

◆町債（借金）の累積残額
97億5,942万円
(1人当たり約26万円)

◆基金（貯金）の累積残額
63億5,192万円
(1人当たり約17万円)



町民一人あたり
約37万円

特別会計を含めると
約56万円使いました
令和2年3月末現在
人口37,361人

1人当たり

9月定例会

令和2年度苅田町一般会計予算等を慎重審議

一般会計補正予算等23件、意見書2件（8月27日～9月25日）

補正予算

令和2年度一般会計補

正予算（第7号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6億3311万1千円を

追加し、補正後の総額は186億2360万4千円。

その他の議案

●財産の取得

追加し、補正後の総額は186億2360万4千円。小中学校、児童生徒一人一台端末の整備にあたり、約1億3905万円（株）日章スクール&オフィス行橋営業所と契約するもの。

人事案件

公共施設の利用条件緩和にあたり、感染症対策を実施するための費用や、学校再開等支援に係る費用。

●監査委員の選任

神栄一氏を選任することに同意を求めるもの。

●人権擁護委員の候補者の推薦

はまだつぐみ 濱田嗣視氏、よこてゆみ 横手由美氏を推薦することに同意を求めるもの。

追加議案

●補正予算 276万円
新型コロナウイルス感

議案質疑

令和2年度一般会計補正予算

〔農林水産業費〕

Q 水路改良工事費の内容は。

A 片島の小波瀬川にあるゴム製のラバーゲート補修費300万円。

Q 以前も張り替えなかったか。

A 平成29年度に右岸側のラバーゲートに空気が漏れ補修。今回は左岸側。

Q 構造的な問題か。

A 老朽化による破損。

Q 耐用年数は。

A 1984年設置で耐用年数は約30年。全部取り替えると約1億円かかるので、

* 令和2年度補正予算

【一般会計（第2号）】 歳出（増額補正の主なもの）	
・集会所施設整備補助金	828万円
・個人番号カード交付事業費負担金	456万円
・放課後児童クラブ整備助成金	3,361万円
・放課後子ども環境整備助成金	500万円
・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業費補助金	1,250万円
・し尿処理場配管更新工事費	2,352万円
・農業用施設改修費	1,350万円
・企業立地促進奨励金	1億5,000万円
・苅田駅前観光案内板設置	500万円
・特別教室空調設置実施設計委託料	1,459万円
・小中学校パソコン貸出費用	374万円
【国民健康保険特別会計（第3号）】	1,149万円
【後期高齢者医療保険（第1号）】	▲200万円
【介護保険特別会計（第1号）】	2,562万円
【土地区画整理事業（第1号）】	461万円
【下水道事業会計（第1号）】	▲326万円
【水道事業会計（第1号）】	517万円



ラバーゲート

耐用年数は過ぎて
いるが、今のところ補
修で対応。

Q 森林経営管理制度
調査委託料とは。

A 森林をどのように
経営していくのかと
いう意向調査が中心。

Q 対象場所は。

A 今回は黒添地区。

【商工費】

Q 商工振興費の企業立
地促進奨励金と雇用促
進奨励金の内容は。

A 本町に新たに立地
した。東プレ九州(株)

に、条例に基づき

1億5千万円の奨励
金と、本町に住所が
ある方を5名雇用し
たことで奨励金

150万円を支払う。

Q 苅田駅前観光案内
板設置委託料

500万の詳細は。

A 県からの宿泊税に
伴う観光目的の交付
金で、今年度は企業
名や文化財など町全
体がカバーできる案
内看板を設置したい。

Q 観光協会の事務所
の立地の改善につい

ては。

A 宿泊税の交付は始
まったばかりで、恒
常的に今後も交付金
として下りてくるの
で、観光協会を駅前
にということも含め、
観光の充実を図るた
めにこれから検討し
ていく。

報告第8号

Q ピュアタウン苅田
の形態は。

A 株式会社。平成14
年3月5日発足、資本
金1000万円(内
500万円は町が拠
出、それ以外は商工
業者)。

Q 目的は。

A 中心市街地活性化
法が平成10年にでき、
それに伴い、中心市
街地活性化という目
的で設立された。

Q 事業内容は

A J A直売所前の駐
車場経営と商店街で
行われる各種イベン
ト(K・1グランプリ・
ハロウィンなど)、事
務委託は商工会議所
に委託。

Q 損失が続いている
のでは。

A 平成27年から30年
は黒字、31年に駐車
場の機械が壊れ更新
したので、償却期間
5年間は駐車場収入
に対してマイナスに
なるが、5年過ぎる
とプラスに転じる予
測。

Q 現状だと資本割れ
をするのでは。

A 償却費負担自体は
先が読めるが、そこ
にさらなる経費節減
を加味して、できる
だけ早期に資本の回
復を図りたい。

議 会 の う ご き

7月	8日	議会広報特別委員会(議会報第145号企画編集について)	8月	7日	議会運営委員会(新型コロナウイルスについて)
	13日	議会広報特別委員会(議会報第145号企画編集について)		19日	全員協議会(令和2年第4回定例会について)
	27日	緊急対策特別委員会(新型コロナウイルスについて)		20日	議会広報特別委員会(議会報第146号企画編集について)
	29日	全員協議会(新型コロナウイルスについて)		21日	常任・議会運営委員長・副委員長研修会
9月	1日	議案質疑	9月	27日	議会運営委員会(令和2年第4回定例会について)
	7~11日	一般質問		議会開会	
	14日	付託委員会		1日	議案質疑
	15~17日	決算特別委員会		7~11日	一般質問
	25日	閉会・議会広報特別委員会(議会報第146号企画編集について)		14日	付託委員会

委員会質疑

総務常任委員会

▼令和2年度苅田町一般会計補正予算(第7号)

Q 公債費において、元金が増えて、利子が減っているが繰り上げをしたのか。

A 臨時財政対策債が10年経過したので利率の見直しを行った。利率が1・2%から0・003%になったので、元金を増やした。

て、利子を減らした。

Q 借りた金額と期間

A 金額は4億5千3百万円。期間は20年間。

Q 財政調整基金積立

A 金は、前年度の実質収支額、約6億6千万円の2分の1を積立たのか。

A その通りである。

産業建設常任委員会

▼令和2年度苅田町一般会計補正予算(第7号)

Q 苅田駅前観光案内板のイメージはできているのか。

A 近隣の駅、道の駅を視察し、イメージしている。

Q 枚数と設置時期は。

A 1枚。年度内の設置・完了予定。

Q 電子広告等の使用を検討してみては。

A 検討する。

▼苅田町土地区画整理事業特別会計補正

予算(第1号)

Q 事業の進捗状況は。

A 順調に進んでいる。

厚生文教常任委員会

▼令和2年度苅田町一般会計補正予算(第7号)

Q 児童福祉費の修繕料の内容は。

A 南原小学校の放課後児童クラブに避難経路を確保するため、はしごを設置する手すりの修繕。

Q 放課後児童クラブ整備助成金の内容は。

A 主にみどり幼稚園の施設を整備。

Q コロナウイルス感染症緊急包括支援事業費補助金の内容は。

A 1事業所に50万円。

Q 学校管理費の特別

教室空調設備委託料

の具体的内容は。

A 小学校6校で音楽室や理科室などの28教室を予定。

Q 設置の予定は。

A 工事自体は、来年度の6月末完了予定。

▼令和2年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

Q 現在の赤字額は。

A 前年度は約3億2千万円が本年度は1億8700万円に減少。

Q 1億8700万円の解消方法は。

A 財政当局と計画的

な繰入を協議する。

▼財産の取得について(小中学校学習用情報機器端末)

Q タブレット端末は年度内に納入されるのか。

A 来年1月末には納入できそうである。

▼専決処分について(令和2年度苅田町一般会計補正予算(第6号))

Q 補正の主な内容は。

A コロナ関係の備品購入費の増額補正と

学習支援員・スクー

ルサポートスタッフの人員費。

▼令和2年度苅田町一般会計補正予算(第8号)

Q インフルエンザワクチン接種補助金276万円の根拠は。

A 高齢者、妊婦で60%で計算している。

Q 医療機関によって金額がちがうか。

A 京都医師会と契約するので、同一料金である。

常任・議会運営 委員長・副委員長研修会

8月20日に、福岡県自治会館にて、元全国都道府県議会議長会事務局次長内田一夫氏により「地方議会をめぐる諸問題と委員会の進め方について」をテーマにした研修会があり、議会より4名が参加した。



令和2年第4回 苅田町議会定例会議決結果一覧表

議案番号	議案題名	末石伸二	花見文敏	村上智宣	屏正隆	岩谷潔	尾形均	白石学	友田敬而	榎谷忠明	小山信美	井上修	武内幸次郎	梶原弘子	松蔭日出美	沖永義樹	坂本議長	結果	
議案第72号	令和2年度苅田町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第73号	令和2年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第74号	令和2年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第75号	令和2年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第76号	令和2年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第77号	令和2年度苅田町下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第78号	令和2年度苅田町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第79号	平成31年度 決算の認定について(苅田町一般会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第80号	平成31年度 決算の認定について(苅田町国民健康保険特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	認定
議案第81号	平成31年度 決算の認定について(苅田町後期高齢者医療特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第82号	平成31年度 決算の認定について(苅田町介護保険特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第83号	平成31年度 決算の認定について(苅田町土地区画整理事業特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第84号	平成31年度 決算の認定について(苅田町住宅新築資金等特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第85号	平成31年度 決算の認定について(苅田町苅田臨空産業団地開発事業特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第86号	平成31年度 決算の認定について(京都郡公平委員会特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第87号	平成31年度 決算の認定について(苅田町下水道事業会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第88号	平成31年度 決算の認定について(苅田町水道事業会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
議案第89号	財産の取得について(苅田町立小中学校学習用情報機器端末)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第90号	専決処分について(令和2年度苅田町一般会計補正予算(第6号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案第91号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第92号	人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第93号	人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第94号	令和2年度苅田町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
意見書案第3号	防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
意見書案第4号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

○—賛成、×—反対 ※議長は採決に加わらない。但し賛成、反対が同数の場合は議長判断による。
 ※選挙第1～3号については議長の指名推選により全会一致で当選

議会掲示板

議会中継アクセス件数

9月末時点アクセス件数

ライブ中継 998件
録画中継 1,484件
(令和2年4月からの累計)

12月定例会の予定

- *会期は
12月1日(火)から
12月18日(金)まで
- *一般質問は
12月9日(水)から
12月15日(火)まで
- *開会時間は
午前10時～午後5時
- *傍聴受付 庁舎6階にて
- *問合せ先 議会事務局
☎093・434・1981

Q 小波瀬西工大前駅 周辺整備は

A 方向性を決定し、 関係機関と協議を進める



村上 智宣 (高志会)



新型コロナウイルス 対策

Q 今後の対策は。

A 国、県の動向を注視しながら、必要な対策を検討する。保健所、医師会とも連携していく。

Q 現在までの対策への予算執行状況は。

A 予算額8億2774万5000円のうち、執行額は2億2202万7000円。

Q 夏休み短縮により、カリキュラムの進捗

は取り戻せたか。

A 予定された分については履修ができています。

小波瀬西工大前駅 周辺整備事業

Q 現在の進捗は。

A 現駅舎を活用しながら駅前道路の安全対策を先行させる方針で、関係者と協議をしている。

Q 今後の見通しは。

A 現在は町の方針をJR側に伝えている

防災の現状

Q 台風10号での避難者数は。

A 全体で323名、192世帯。各避難所の職員数を増員し、中央公民館の保健師も1名増員した。また、三密を防ぐための対策も行った。

Q 増設した避難所の備蓄品は。

A 十分なコロナ対策ができていない部分があった。

提言 必要なものがあればしっかりと準備して受け入れられる体制を作っていくしてほしい。

Q 害虫(ウンカ※)の農作物被害について、把握していることはないか。

A 被害が非常に激し

く、町内全域に広がっていると把握している。対策に対する情報まではまだ掴んでいない。

提言 今回の件で農業従事者の減少が加速することが懸念されるので、用途地域変更等も含めて、早い段階から考えてほしい。



ウンカの被害にあった田



ウンカ

※ウンカ：半翅(はんし)目ウンカ科の昆虫の総称。セミに似るが、体長は10mm以下、多くはイネ科植物を食べる害虫。

Q 本町教育への夢と抱負は

A 教育は未来への投資



友田 敬而 (大樹会)



Q 目指すべき子供たちの将来像は。

A 確かな学力、たくましい心とからだ、町への愛着を持ち本町の未来を拓いていく荊田を愛する子供たちの育成。

Q コロナ禍における子供たちの学びの保障は。

A 文科省から示された「学びの保障」総合対策パッケージに沿って教育課程の編成を見直して保障していく。

Q 有松元教育長達が唱えていた「生き抜く力」こそ、子供に必要な力では。

A 今の子供たちに必要なのは自主性と創造性。ただ授業を受ける、聞くだけではなく、自ら課題を見つけ、解決する力を子供たちにつけたい。

Q この考えが教育改革につながるのでは。

A コロナ禍の今こそ必要な考え。継続して進めていく。

Q 何を目指している

のかを明確に示して大切な予算を使うべきでは。

A 本町の大切な予算を有効に使い、子供たちに「生き抜く力」を一身につけさせていく。

提言 教育とは、ただ単に子供たちに勉強を教えるだけではない。すばらしい人材を育てることにより本町の未来を築く、大変クリエイティブな事業である。どのような教育を行うか

により、本町の未来が変わってくる。教育が「国家百年の計」と呼ばれるゆえんである。教育長と教育委員会の双肩に、私たちの未来がかかっている。

Q 井上教育長は、本町独自の教育改革に深く関わってきた教育者と認識しているが。

A 平成16年に課長補佐として学校現場から教育行政に入り、そして第1次教育改革を推進してきた。

Q 本町の教育改革の総括は。

A 第1次教育改革で福岡県の先頭に立って行ってきた教育施策の成果は、学力の向上という形で、5年目ぐらいから現れ

てきた。その後の改革でも施策を改善・改良してきた。教育改革の総括は、いまだ取組の真只中であるため途中経過の報告となる。



荊田町教育施策関係書類

Q 町民の意見を聴き守ってほしい

A 国・県の支援策や感染防止対策を継続



梶原弘子（無党派）



Q コロナ禍から住民を守る計画を願う。

A 町独自施策として、雇用調整助成金を上乗せする緊急雇用維持助成金や、小規模事業者へ一律20万円交付するなどの事業者応援を行う。

Q PCR検査を地域全ての店舗従業員、学校、保育園関係者にも行ってほしい。

A 今後の取り組みとして、国、県の動向を見ながら対応していく。

国民健康保険税

Q 国民健康保険加入世帯と人数は。

A 5千5百世帯と7千人である。

Q 加入者は安心して支払っているのか。

A 税徴収部門で滞納者を把握している。

滞納者には納付相談を行い、状況を聴きとり、300件から500件の相談に乗っている。

Q 減免の相談を行っているのか。

A 把握している。

野良猫問題

A コロナのための減免も含めて、全世帯に郵送する納付書の中に減免があるという通知は入れている。

Q 担当課として困ったことはなにか。

A 野良猫、犬については餌やりやフンの問題などの相談が多い。

Q 県の政策は把握しているか。

A 把握している。

教育問題

Q 県が補助金を出し、避妊手術をするやり方は、町としてとれないのか。

A 取り組んでみたい方がいれば町としても手伝う。

Q 今後「就学援助制度」の拡充の計画はあるのか。

A 本年度より「卒業

アルバム」代を小中学校費用を予算化するようにした。

提言 就学援助金について、日本国憲法第26条2項では、すべて国民は法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う、義務教育は、これを無償とするとなっている。

農業問題

Q 町内の稲が「ウンカ」の大被害にあっているが、町独自の見舞金はだせないのか。

A 町独自の見舞金手当てできないが、県やJAとも協力したい。

地域猫活動のパンフレット

Q 持続可能なまちづくりは

A 財政健全化がいちばん



尾形 均（無党派）



Q 本町は、以前7年連続の8度目の赤字決算だった。財政健全化検討会議の提言が生かされているか。

A 町の事業計画を洗い直しチェック機能を設けた。

Q 連続赤字の原因は、外的には経済の影響、内的には施策の失敗、不交付団体ゆえの甘えの体質が蔓延。

A 指摘は受け止める。

Q 外的要因の経済とは固定資産税の減、国県からの補助金の

減、町特有の空港経費等々では。

A その通り。

Q 内的要因とは豊かさという甘えから事業の目的、必要性の検討なしに対処療法的に取組んだのでは。

A 今迄の反省から今、取り組んでいる事業は洗い直す。

Q 具体的には駅周辺整備事業、土地区画整理事業、最たるものは温水プール。これは費用対効果を考えると作るべきでは

なかったのでは。

A 区画整理は早く完成させる方法、プールは他に有効活用できるか考える。

提言 不交付団体＝豊かであるという考えは改めるべきだ。7年連続赤字の原因を再検証し、町の形態を考慮し持続可能なまちづくりをすすめること。

Q 今後予想される大型事業には多額の費用が必要。歳入見込みは立てているのか。

A 企業誘致を進め、固定資産税増をはかる。

Q 新たに安定的歳入増につながる方法は。

A 固定資産税と町民税。

Q 固定資産税の税率を以前に戻したらどうか。

A 元の税率年1・6%に戻せば、年7・5億円増収になるが、不交付団体なのですべきではない。

Q 将来に亘ってのまちづくりを考えれば安定的財源として考えるべきでは。

A 企業の進出、経営を考えればやりにくい。

Q 本町は都市計画事業を進行中。大型事業をやる市区町村では都市計画税が導入できる。年6億円増

収になるが。

A 今の税収で十分である。

Q 目前に迫る大型事業への対応、近い将来、以前施工したインフラの改修を考慮すると安定した財源が必要では。

A 大型事業は、平準化して行う。しかし

今は災害への対応は考えていない。

提言 現在の歳入構造、特に固定資産税は世界の経済情勢からして非常に不安定。将来のまちづくりを考えるとき安定した歳入を求めるべきだ。



荻田町民プール

Q 合併時の約束事は
どうなったのか

A 他の事業との
兼ね合いも見ながら検討する



松蔭 日出美 (無会派)



Q 合併時の条件で現
在残っているものは。

A 当時長峡中学校への
通学路だった町道
鋤崎・行橋線と県道
の苧田採銅所線。

Q 鋤崎・行橋線の状
況は。

A 事業費が多額のため、
他の事業と比較
しながら検討する。

Q 県道苧田採銅所線
の進捗は。

A 県より、文化財調
査が終了し、警察協
議中と報告を受けて
いる。

Q 等覚寺分校跡地の
整備状況は。

A 費用が多額のため、
他の事業との優先順
位を考え検討。

Q やり方を考えれば、
費用を抑えられるが
検討はしたのか。

A 様々な手法を検討
した。

Q 合併してから65年
を経過している。優
先順位が高い事業と
は何か。

A 公共施設の整備、
下水道、与原区画整
理事業、し尿処理施

設、ごみ施設などが
あり計画を立ててい
る。

Q 公共施設の更新に
は全体でどのくらい
かかるのか。

A 15年間で約
211億円。

Q その中に白川地区
はあるのか。

A 西部公民館の補修・
改修が含まれている。

Q 鋤崎の橋周辺の道
路整備の状況は。

A 他の事業と同様に
優先順位をつけて検
討する。

白川校区に何ができ
るか

Q 白川校区の区長会
からの要望である公
園について検討はす
るのか。

A 役場内で検討を重
ねていく。

Q 財政状況が厳しい
のなら、コロナの状
況が落ち着いたら、

税率の見直しを検討
してはどうか。

A 財政の見直しは、
支出に重点をおき、
努力する。

Q 本町は、不交付団
体である。不交付団
体になって何年か。

A たくさんの人の努
力があり昭和50年よ
り45年間不交付団体
となっている。

提言 不交付団体であ
るため国や県に頼ら
ず独自で財政運営が
できるはず、白川地
区の公園整備につい
ては強く要望する。



白川小学校横の用地

Q 今後を見据えた財源確保は

A 必要性を感じている



武内幸次郎（大樹会）



Q 平成31年度、税収増の主な要因は。

A 企業進出に加え、企業活動が盛んで固定資産、法人町民税等が増加した。

Q 公共施設の改修や更新に15年間で211億円程度必要。ゴミ処理施設は含まれているのか。

A 第三セクターであり町所有の施設との位置付ではない。

提言 ごみ処理施設も改修や更新を検討しなければならぬ。

財源確保が不可欠だ。

Q 財源確保として行革、定住化、企業誘致とのことであったが、財源が全く見えてこないが。

A 不交付団体ゆえに交付金が少ない。企業の設備投資が固定資産税の増加につながっているが、さらなる企業誘致で財源確保に努めたい。

提言 県主導の企業誘致ではなく町独自の誘致を行うためにも企業用地確保が必要

だ。

Q 臨空産業団地は、以前は原野だったが、税収の変化は。

A 約3千万円が約4億2千万円に増えた。

Q 新築家屋も急増している。税収は。

A 平成31年度は296件で、約7千万円。

Q 市街化田に政策的道路を建設し、民間開発の喚起を促すべきでは。

A 住宅需要の喚起施

策の必要性は理解している。

汚水処理

Q 下水道計画は、現在の予算措置では計画年度内には完了しない。合併浄化槽を活用した汚水処理計画への見直しが必要では。

A あるべき姿を町民に示すべきであり、検討中だ。

Q 国も水洗化率を上げるため合併浄化槽への切り替え補助の上乗せをしているが現況は。

A 単独浄化槽からの切り替え9万円、汲み取りからの切り替え6万円、単独、汲み取り双方の配管設備費は最高額14万円。

Q 環境負荷の低減や

文化的ライフスタイルの促進のためにも町独自の補助額上乗せをすべきでは。

A 浄化槽も随分進化しており、戦略的に考える時期に来ている。設置を促す方法を検討中。

提言 将来を見据え定住化や財源確保、効率的な汚水処理の推進に取り組むべきだ。



開発が進まない市街化田

Q 大規模な災害の対応は

A 消防力の増強が必要



井上 修 (飛翔の会)



災害とコロナ

Q 近年、大規模な地震、台風、大雨が発生している消防本部の対応は。

A 3 署応援協定を結び、地域防災課と協議を重ね、自主防災組織との訓練を行っている。

Q 荇田町消防本部から大規模な災害に対するの応援はあるのか。

A 阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本

地震、西日本豪雨、九州北部豪雨、九州豪雨に出勤。

Q 受援はあるのか。

A 平成22年の工場火災に行橋消防本部からはしご隊。平成28年の産業廃棄物施設での火災。北九州消防局より消防隊の支援を受けた。

Q コロナウイルスに感染している人の救急要請に対応しているのか。

A 搬送したことはない。

Q 救急隊の感染防止のストックは。

A 対応できている。

消防団の現状は

Q 消防団の体制は。

A 条例定数は123名、消防団員数は男性108名、女性3名の111名である。

Q 全国的に消防団員の減少が起こっている。本町での勧誘対策は。

A 若い団員の勧誘を各分団で行っている。

また、広報、荇田ホームページ等に掲載している。

Q 消防団員の費用弁償は平成5年から27年間変わっていないが、処遇の改正は。

A 消防団の消防車を優先し買い替えた。今度は処遇を検討する。

Q 消防団員の退職年齢を延ばす考えは。

A 引き上げを検討したい。

JR小波瀬西工大前駅

Q 今日までの進捗状況は。

A 複数の案を作成し、着手に可能な整備方針を検討。JR九州と協議している。

Q 「副都心小波瀬」と言うことで青写真

を町民に。

A JR九州等の協議もあるが速やかに事業の進捗に努めていく。



出初式にのぞむ消防団

Q 学校教育とSDGsについて

A 公正で質の高い教育の提供



白石 学 (公明党)



Q SDGs (※)を踏まえた取り組みは。

A 教員の研修を重視し、質の高い指導が出来るようにする。教科書にSDGsの特設ページがあり、児童生徒の理解を深めるよう指導する。

Q ユネスコスクールへの登録は。

A 今すぐの登録は難しい。馬場小学校の取り組みが充実・発展すれば考えられる。
Q ジェンダーの格差をなくす点は。

A あらゆる場で人権教育を進めていく。

想 GIGAスクール構

Q 児童生徒一人一台の端末と通信ネットワークの整備状況は。

A 本年度中に一人一台の端末、及び高速大容量通信ネットワークの環境整備を行う。

Q 障害のある子、学校に来ることが出来ない子など、特別支

援教育でのICTの活用は。

A どのように活用することで、児童生徒の困難さを軽減できるかを指導していく。端末が入ってからスキルアップしていく。

Q 不登校の生徒にオンライン授業で、効果が上がり登録してきた自治体があるが。

A リアルタイムと教育センターのDVDを使う2つの方法がある。少しずつ進めていきたい。

Q 誰一人取り残さない、学びの保障等の観点からみると、ICTの活用で改善が出来るのでは。

A コロナ禍もあり、ICTを活用した授業への大きな転換点となった。少しずつ広げていく。

Q 教師を支援するGIGAスクールサポーターの配置は。

A 小学校で3名、中学校で1名を導入する。

Q 遠隔教育の効果的な活用のため、ICT活用教育アドバイザーの配置は。

A 今のところ考えていない。

SDGs

Q 第二期総合戦略で、横断的目標にSDG

sの記載がある。総合計画にSDGsをどう反映させていくのか。

A 役場全体にデジタル化は遅れている。総合計画の中でSDGsを紐付けする。新時代に向けた仕事のあり方に転換する時期に来ている。

Q SDGsの17目標のうち、本町が特に優先するものや、遅れているものを取り入れる考えは。

A 個別に案件はあるが、SDGsのどこに力を入れていくかは、これから取り組んでいく。

※SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年に国連で決定した、2030年を期限とする国際的な目標。17の目標があり、169のターゲットが設置されている。



SDGsのマーク

Q 農水産業の振興を

A 重要な課題の一つ



岩谷 潔 (飛翔の会)



市街化農地はおおむね10年以内に開発する土地。今後の方針を早急に決めてもらいたい。

農振振興地域

Q 遊休農地の状況は。

A 増加しつつある。

Q 農道や水路の整備計画は。

A 計画的な改修は行っていない。老朽化施設は陳情があれば国県の補助金を利用し改修している。

Q 農振地域と指定している以上は計画的な改修が必要では。

A 老朽化施設については現地確認をし、地元に関いかけて行っている。地元負担が発生するため、まともな改修する。

Q 歳出で農林水産業

の占める割合は。

A 2.1%である。

提言 農水産業は町の発展には欠かせない。意欲的・積極的に従

事する若い人たちが増えている。資金・整備面で応援する体制を。

市街化農地

Q 農地の形態により違いはあるのか。

A 市街化農地と比較し、農振地域は国県の補助事業が多く用意されている。

Q 市街化区域の中には140ヘクタール弱の農地があるが水路や農道の補助事業はあるのか。

A 計画的な改修計画はない。老朽化した施設の整備のみ。

Q 悪条件の農道や水

路が多くみられるが。A すぐに使わなくなる状況がなければ対応していきたい。

Q 農振農用地と比べて固定資産税の違いは。

A 一概には言えないがおおよそ40倍。

Q 市街化農地の高齢化が進んでいるのでは。

A 農振農用地との比較はわからないが、町全体では65歳以上の方が70%である。

Q 悪条件の農地を高

齢者が耕作している。市街化農地は本当に必要なのか。宅地化以外の利用は。

A 農地のままではなく、都市内緑地、防火のためオープンスペースとして活用も検討。

Q J R 日豊線西側の市街地は地区計画を

しては。A 緑豊かな市街地として整備は可能だと思われる。

提言 都市計画決定から50年がたっている。



悪条件の農地

Q 白川北部の 下水道進捗は

A 令和8年度より 整備を進める計画



坂本東二郎 (高志会)



Q 公共下水道と農業
集落排水の浄化セン
ターを直結すれば新
たに造る必要は全く

A 公共下水道と農業
集落排水を分けてい
ないのではないかと
る。集落排水事業は



片島地区汚水処理場

個別に処理場設ける
事が条件になってい
る。

Q 検討段階ではなく
実行しなければ、近
隣でも直結させてい
る。より効率的にな
り年間5千万円の削
減効果がでるではな
いか。

A 直結を試算して毎
年の費用が2千万円
程度削減できる。た
だ工事費として一億
円以上かかる全体的
なトータルコストを
見ながら進めていく。

Q ずっと待たされる
人は、行政から切り
捨てられたのではな
いかとの心境になっ
ている。

A 陳情も頂き、非常
に苦しい状況は分か
るが、多くの課題が
ある。令和8年度か
ら整備という計画で、
決してほったらかし
ているとか、見捨て
たとかいうことはな
い。

Q 一日も早く、住み
たくなる町を目指し、
リーダーとして職員
に対して、もっとほ
かに方法、工夫はな
いのかと指導してい
くのが町長の責務だ
と思うが。

A 白川北部のみなさ
んが水洗化できると
すれば、合併浄化槽
合併浄化槽による不
利益を被らないよう

に検討をしている段
階。

Q 町長には、この問
題について絶対やる
と。先頭切って動い
て回るといふ姿で
あってほしいと願っ
ている。それがリー
ダーとしての在り方
ではないか。

A し尿と生活排水が
一緒に処理をする条
件が整わないとでき
ない。

Q 面整備では随分か
るので、個別浄化

槽でいいのではと言
うが、住民は納得し
ない。

A 既に合併浄化槽を
入れた家がある。現
状から検討して、ど
うしても無理がある、
速やかにする方法と
して合併浄化槽への
転換を提案したい。

提言 白川北部地区住
民が一日も早く下水
道の恩恵に浴するよ
う町長以下職員の奮
闘に期待する。



早期整備が望まれる白川北部地域

Q 防災士の育成を

A 資格取得を助成する



小山 信美 (公明党)



Q 防災・防災教育を問う。

A 防災には相応の予算をつける時代が来ている。学んだ知識を使って行動できる子どもに育てる。

Q 男女共同参画の重点的取り組みとして、女性の意識向上やリーダー育成については。

A 出前講座を年間10回予定。

Q 防災会議の女性委員数は。

A 25名中2名で、今

後増やしていく。

Q 会議での発言内容は。

A 自主防災組織の女性役員や避難所の着替えスペースの確保、備品の増加など。

Q 今後の取り組みは。

A 男女共同参画の基本指針である女性視点を取り入れていく。

Q 視覚・聴覚障がい者への防災ベストの提供は。

A 購入の検討をした。

Q 町内防災士の人数

は。

A 男性19名、女性2名。

Q 県事業の防災士養成研修試験は1万1500円で取得できる。今後の取り組みは。

A 職員、消防団員、新採の教育にも取り入れるなど、来年度の受講を周知する。

Q 救急講習の参加状況は。

A 片島・白川・苅田・南原小学校の230名。

Q 石川県小松市の防災力強化の取り組みについては。

A 教育委員会と協議し考えていく。総合的学習の時間を活用し計画を立てる。

Q 外国人や女性防災士の育成は。

A 多文化共生の観点から今後計画、勉強していく。

Q 避難所職員の追加配置は、どの段階で決定したのか。

A 16時に5施設を開設。18時に受け入れ困難と判断し、各学校に3名配置した。

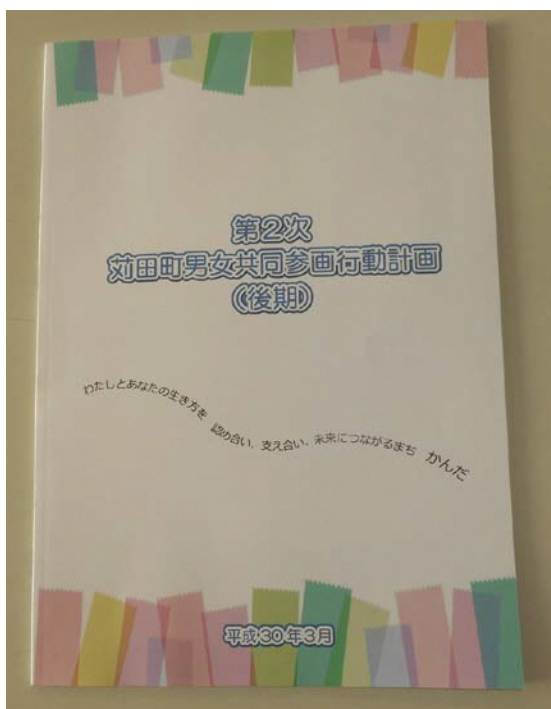
Q 追加開設で町民は振り回された。周知の徹底を。

A 防災無線、防災メールま

もるくん、SNS、ホームページ、広報車で周知したが、今後は避難所の追加開設する旨のお知らせも入れる。

Q 避難する際、毛布や食料の持参、また車での移動に対する考え方は。

A 駐車場は台数に限りがある。徒歩で来る場合は、備品の貸し出しも可能である。



第2次苅田町男女共同参画行動計画

Q 未執行の予算による新しい施策の検討を

A 必要な対策は今後も考えていく



末石 伸二 (飛翔の会)



本町独自施策

Q 緊急雇用維持助成金に3億7500万円の予算が付いているが、現在の交付決定状況は。

A 8件の交付で交付額は約97万円。予算額との差額は約3億7400万円。

Q 定額給付金(10万円)の最終結果は。

A 84世帯90名が残った。

Q 未申請者へのフォローは。

コロナ禍の学校生活

A 連絡がつくところにはすべて連絡を行い、訪問では再通知を入れた。地域福祉課と地域包括支援センター等への協力もお願いして訪問時に声掛けもした。

Q 学習支援員やスクールサポートスタッフの配置状況は。

A 学習支援員は3名、スクールサポートスタッフは各小中学校

A 1名を配置することが出来ている。

Q マスクを着用しながらの熱中症対策は。

A 塩分タブレットや経口補水液等を準備している。必要に応じてスポーツドリンクを持たせることや、首巻タオルの許可、日傘の利用、中学校では体操服での登下校を認める等、子ども達を暑さから守っている。

Q 熱中症対策として夏期間限定でランドセルから身軽なリュックに変更しては。

A PTA等で学校と協議ができれば、問題ないと判断している。

Q 今後の小中学校施設開放に向けては。

A 一般の利用中止は12月まで延期。グラウンドは町内者に限定し、利用日は学校休校日に限る。体育館は町内外の状況を鑑みて開放時期は検討していきたい。

Q 行橋市は8月より開放しているが。

A 本町は8月に方針を決定した。開放時期を前倒し出来ないか協議をしていきたい。

避難所について

Q 豪雨や台風による避難所において感染症対策は訓練通りに実施出来たか。

A 2名の職員を配置し、検温、マスク着用の確認、手指消毒をして頂いた。兆候がある場合は中央公民館へ移動して頂く準備も出来ていた。

Q 本町として「警戒レベル4」を発令した場合、どう行動をとれば良いのか。

A 3月に策定したハザードマップを確認して頂き、災害に合った避難行動をとって頂きたい。また、自主防災組織が行う避難訓練に参加して頂いたり、防災グッズ等の準備をして頂くことをお願いしたい。



暑い中、マスクで登校

荊田町 歴史探検隊

御所山古墳 ごしょやまこふん

- 地元与原の文化財保護運動 -

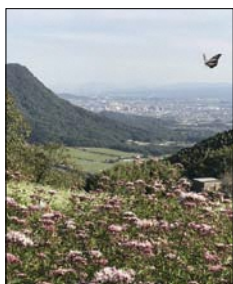
御所山古墳は、現在、墳丘上に白庭神社が鎮座し、「どんど焼き」が行われるまつりの場、住宅街の緑ある憩いの場、小中学校の学習の場や町の観光資源として活用されています。80年以上前にすでに国史跡に指定されており、当町では最初の国指定文化財となります。日本の歴史において、古墳時代の約400年間、約16万基以上の古墳が造られました。県内では約1万基以上の古墳が確認されており、国の歴史を考える上で重要とされる古墳が37件、御所山古墳は7番目という早い時期に国の史跡に指定されています。その背景には御所山古墳の規模や副葬品などの学術的な評価に加え、指定時から現在まで受け継がれる地元与原の人々による活発な文化財保護運動の影響がありました。

今から約130年前の明治時代に日本初の人類学者として著名な坪井正五郎による発掘調査が行われ、埋葬施設から馬具・管玉・鏡等の副葬品が出土し、現在、それらの遺物は宮内庁書陵部に所蔵されています。昭和時代になると、地元与原の酒造所「増田酒店」をはじめとした有志による発掘調査の実施要望や本指定の早期実現の陳情書が県に対して行われ、昭和11年に、御所山古墳は国の歴史を考える上で重要な古墳として遂に国の史跡に指定されました。地元は翌年に「史蹟御所山古墳本指定報告祭」を開催し盛大に慶祝しました。こうした地元与原の人々による文化財保護運動は現在も引き継がれており、平成19年度に開始された史跡御所山古墳調査・整備事業も地元からの要望が契機となりました。

近年の発掘調査成果によると、墳丘長は約119mに復元でき古墳時代中期の北部九州においては最大級の前方後円墳であり、大阪府羽曳野市に所在する応神天皇陵に治定される誉田御廟山古墳のサイズを縮小して相似形に築造したと考えられています。また、



表紙の写真



等覚寺に咲くフジバカマとアサギマダラ

議会広報特別委員会

委員長	沖永 義樹
副委員長	友田 敬而
委員	梶原 弘子
委員	小山 信美
委員	榎谷 忠明
委員	屏 正隆
委員	村上 智宣
委員	末石 伸二

あとがき

今迄に無い猛暑とコロナ禍の夏が終わり、今は虫の音が秋を感じさせます。農家は収穫の秋ですが今年は「ウンカ」で多くの田んぼの稲が倒れています。コロナ禍で何処へ行っても皆マスクで、最初は違和感を覚えていましたが、今はこの状況に慣れてしまいました。温暖化の影響でしょうか、地球に異変が起こっている様に思います。町民生活の安心安全を守ることが議会の目的です。外出時にマスクをして、身体に気を付けましょう。

榎谷 忠明

議会だより かんだ (146号)
令和2年10月25日発行

編集・議会広報特別委員会
発行責任者・坂本東二郎

〒8000-0392 福岡県荊田町富久町1-19-1
☎093-434-1981 FAX093-434-2099